

警 防

令和7年度のできごと

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」に伴う消防警備を実施

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」が滋賀県で44年ぶり2度目の開催となりました。

大津市でも、9月6日から10月26日までカヌー、高等学校野球(硬式)等の各競技が実施され、滋賀ダイハツアリーナ等の各競技会場において消防警備を行いました。

また、天皇皇后両陛下をはじめ、皇室の方々が大津市をご来訪されたことから、消防警備に併せて行幸啓に伴う消防特別警戒業務を行いました。



滋賀の救急電話相談(#7119)が開始

滋賀県の全市町で、「利用よし！受診よし！安全よし！三方よし」の救急電話相談(#7119)を令和7年10月1日から開始しました。

滋賀の救急電話相談(#7119)は、急な病気やケガの際に、「救急車が必要なのか?」「どこの医療機関を受診したらよいのか?」などの救急医療相談に対して、24時間365日(年中無休)の体制で看護師等の専門員がアドバイスをを行います。

急な病気やケガ… 救急車? 病院? 迷ったときは↓

滋賀の救急電話相談

#7119

IP電話、ダイヤル回線からはこちら → ☎077-528-1317

24時間365日 ・看護師等が対応をアドバイス
・医療機関も案内

消防局警防課 救急高度化推進室 TEL: 077-525-9903

緊急時は迷わず119番通報

救急教育支援隊の運用を開始

救急出動件数の増加や救急救命処置の高度化を背景に、救急隊員に対する教育は、大きな課題となっています。

大津市消防局では、救急救命士を含む救急隊員への教育を効果的に行い、知識・技術の向上や伝承を進めるとともに、本市消防局の救急教育システムを確立し、安全で確実な活動を推進することを目的に、令和7年4月1日、中消防署の救急隊を「救急教育支援隊」と位置づけ運用を開始しました。

救急教育支援隊は、各消防署における救急隊員の教育・訓練のサポートを行い、当局の救急教育システムのさらなる充実、人材育成に取り組めます。



北消防署のポンプ車の更新

北消防署配備の消防ポンプ自動車を更新されました。

この車両は、600ℓの水槽と、圧縮空気砲消火装置(CAFS)を搭載しており、少量の水と消火薬剤を混合した泡放水が可能です。効率的な消火活動を行うことができます。この度の更新により、全ての消防署にCAFIS搭載車両が配備されました。



南消防署の資器材搬送車の更新

南消防署配備の資器材搬送車が更新されました。

資器材搬送車は、豪雨における水防活動や、林野火災の際に、資器材を搬送するために使用します。この車両は、重量物の積み下ろしを想定し、後部にテールゲートリフターを装備しており、安全面や隊員の負担軽減に配慮した設計となっています。



出動状況

■ 消防自動車の出動状況

[令和7年中]

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	3	8	11	4	4	9	6	8	6	7	6	5	77
救助	25	24	30	20	31	33	33	34	21	25	26	18	320
警戒	-	5	4	5	4	2	8	8	4	4	5	4	53
偵察	17	18	17	17	15	29	26	28	17	29	18	27	258
水防	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
救急支援	149	106	113	90	74	76	75	71	89	70	78	94	1,085
その他	24	25	27	26	24	26	19	26	24	30	29	26	306

■ 消防艇の出動状況

[令和7年中]

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
救助	1	-	-	-	4	3	4	1	5	1	-	1	20
警戒	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
警備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
調査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
誤報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
合計	1	1	-	-	4	3	4	1	5	1	-	1	21

水利状況

■地区別消防水利の状況

[令和8年4月1日現在]

種別 学区別	消火栓			防火水そう					プ ー ル	池 等	河 川 等	そ の 他	琵琶湖基準水位 ±0cm		
	計	150mm 以上	150mm 未満	計	100t 以上	60～ 100t	40～ 60t	20～ 40t					消防車		消防艇
													水利 箇所	延長 (m)	
北消防署 計	1,827	602	1,225	205	2	10	188	5	37	68	40	21	41	4,479	27,000
小松	247	73	174	16	-	-	16	-	6	8	-	5	7	1,140	8,000
木戸	216	60	156	27	-	1	25	1	5	5	1	11	4	630	5,000
和邇	237	25	212	26	-	-	26	-	4	20	3	3	6	1,360	7,500
小野	61	24	37	7	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-
葛川	95	23	72	11	-	1	9	1	1	-	14	-	-	-	-
伊香立	182	33	149	35	1	2	31	1	6	5	7	1	-	-	-
真野北	66	38	28	14	-	-	14	-	2	-	-	-	-	-	-
真野	173	83	90	10	-	2	8	-	2	6	10	-	3	260	800
堅田	315	131	184	15	1	1	11	2	5	22	5	1	21	1,089	5,700
仰木	78	22	56	17	-	1	16	-	1	2	-	-	-	-	-
仰木の里	76	47	29	11	-	-	11	-	3	-	-	-	-	-	-
仰木の里東	81	43	38	16	-	2	14	-	1	-	-	-	-	-	-
中消防署 計	2,071	931	1,140	105	7	16	81	1	39	33	27	34	26	5,324	18,200
雄琴	173	77	96	16	-	1	14	1	2	5	2	-	4	578	5,800
日吉台	55	26	29	17	-	-	17	-	1	-	-	-	-	-	-
坂本	273	97	176	7	1	1	5	-	3	1	8	6	-	-	-
下阪本	212	65	147	7	-	1	6	-	3	6	4	1	6	316	4,000
唐崎	287	122	165	10	1	3	6	-	4	2	-	1	2	300	2,600
滋賀	273	102	171	10	2	1	7	-	4	3	-	5	2	540	1,200
山中比叡平	63	33	30	5	-	1	4	-	3	-	1	1	-	-	-
長等	153	105	48	6	-	3	3	-	6	7	3	3	4	760	1,800
藤尾	101	40	61	8	-	3	5	-	2	-	3	-	-	-	-
逢坂	141	72	69	6	1	-	5	-	2	-	-	1	-	-	-
中央	101	67	34	2	1	1	-	-	2	3	1	10	3	1,000	1,100
平野	239	125	114	11	1	1	9	-	7	6	5	6	5	1,830	1,700
南消防署 計	1,164	516	648	79	3	9	67	-	20	34	82	7	8	1,500	5,300
膳所	237	124	113	9	2	1	6	-	3	8	5	-	7	1,500	2,800
富士見	131	44	87	12	-	1	11	-	2	6	2	2	-	-	-
晴嵐	276	125	151	10	1	1	8	-	5	8	29	3	1	-	2,500
石山	178	75	103	8	-	1	7	-	4	5	6	2	-	-	-
南郷	189	94	95	20	-	4	16	-	4	4	12	-	-	-	-
大石	153	54	99	20	-	1	19	-	2	3	28	-	-	-	-
東消防署 計	1,300	515	785	163	2	14	144	3	22	79	35	6	1	400	400
瀬田	201	60	141	25	-	3	21	1	4	11	1	1	-	-	-
瀬田北	223	78	145	14	1	1	12	-	3	1	6	1	-	-	-
瀬田南	241	89	152	23	1	2	20	-	4	11	7	1	1	400	400
瀬田東	225	104	121	32	-	3	27	2	3	13	2	3	-	-	-
田上	223	95	128	23	-	3	20	-	3	12	6	-	-	-	-
上田上	86	33	53	11	-	2	9	-	3	20	9	-	-	-	-
青山	101	56	45	35	-	-	35	-	2	11	4	-	-	-	-
総合計	6,362	2,564	3,798	552	14	49	480	9	118	214	184	68	76	11,703	50,900

■消防局事業による耐震性貯水槽の設置状況

消防水利は大規模な震災を想定し、消火栓に偏ることなく地域の実情に応じて耐震性を有する消防水利を配置することと国からの告示により定められており、当消防局でも調査及び設計、並びに設置に向けての事業を行っています。

[令和8年4月1日現在]

	40m ³	60m ³	100m ³	計
平成25年度	3	1	-	4
平成26年度	-	-	-	0
平成27年度	4	-	-	4
平成28年度	-	1	-	1
平成29年度	-	-	-	0
平成30年度	-	-	-	0
令和元年度	1	-	-	1
令和2年度	-	-	-	0
令和3年度	1	-	-	1
令和4年度	1	-	-	1
令和5年度	-	-	-	0
令和6年度	1	-	-	1
令和7年度	-	-	-	0
合計	11	2	0	13

■開発行為による消防水利の設置状況

都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、「大津市開発許可制度に関する基準」及び「大津市消防水利等設置基準」に基づき、消防水利の指導を行っています。

[令和8年4月1日現在]

	消火栓	防火水槽
平成25年度	10	2
平成26年度	8	4
平成27年度	13	8
平成28年度	14	3
平成29年度	11	9
平成30年度	19	2
令和元年度	19	3
令和2年度	20	10
令和3年度	14	9
令和4年度	13	0
令和5年度	22	2
令和6年度	14	0
令和7年度	13	1
合計	190	53

令和7年 救助概況

■ 事故種別出動件数・救助人員

項目	合計	事故種別									
		火災	交通事故	水難事故	山岳事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス・酸欠	破裂事故	その他
出動件数(件)	426	57	64	29	38	-	2	151	1	-	84
救助人員(人)	191	4	27	13	13	-	1	95	1	-	37

■ 過去5年間 出動件数の推移

項目	合計	事故種別									
		火災	交通事故	水難事故	山岳事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス・酸欠	破裂事故	その他
令和3年	350	57	43	22	34	2	2	103	-	-	87
令和4年	328	53	48	24	39	-	6	86	-	-	72
令和5年	383	62	46	20	28	-	4	128	-	-	95
令和6年	397	49	58	20	44	-	2	123	1	-	100
令和7年	426	57	64	29	38	-	2	151	1	-	84

■ 大津市の水難事故、山岳事故の傾向について

水難事故 計29件	転落	遊泳中	レジャー	自損	不明	その他
	5	-	6	3	14	1

救助 人員	市内	市外	不明
	2	6	5

山岳事故 計38件	道迷い	転倒	滑落	急病	疲労	その他
	10	6	5	3	5	9

救助 人員	市内	市外	不明
	2	10	1

■ 署所別発生件数

署所	合計	事故種別									
		火災	交通事故	水難事故	山岳事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス・酸欠	破裂事故	その他
北消防署志賀分署	44	4	8	5	11	-	-	6	-	-	10
北消防署	78	7	19	8	10	-	2	18	-	-	14
中消防署西分署	49	8	6	6	5	-	-	14	-	-	10
中消防署	95	14	11	6	1	-	-	46	-	-	17
南消防署	65	10	6	-	-	-	-	34	-	-	15
南消防署南郷出張所	19	3	3	1	2	-	-	7	-	-	3
東消防署	72	11	7	3	9	-	-	26	1	-	15
名神高速道路等	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の地域	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	426	57	64	29	38	-	2	151	1	-	84

消防車両等配置別性能状況

[令和8年4月1日現在]

所属名	名称	車名	登録	ポンプ級別	形状等
消防局	局指令1	トヨタ	H20		乗用(3,000cc)
	局指揮1	トヨタ	H10		乗用(3,000cc)
	局指揮2	トヨタ	H24		指揮車4WD
	局広報1	日産	H21		ライトバン
	局装備1	ダイハツ	H28		軽バン4WD
	局査察1	スズキ	H24		軽バン4WD
	局連絡1	トヨタ	R 5		ステーションワゴン(8名)
	局支援1	いすゞ	H25		支援車I型
	局支援2	トヨタ	R 7		支援車III型マイクロバス(20名)
	楽器搬送車	三菱	H10		フラットバン(2.0t積)
北消防署					
本署	北はしご1	三菱	H15	A-2	はしご車30m級
	北救助1	日野	R 4		救助工作車III型4WD
	北タンク1	日野	H20	A-2	タンク車(2,000L)4WD
	北ポンプ1	日野	R7	A-2	CAFS付ポンプ車(600L)4WD
	北指揮1	トヨタ	H28		指揮車4WD
	北救急1	トヨタ	R 3		高規格救急車4WD
	北資材1	三菱	H27		トラック(2.0t積)
	北水害対策1	いすゞ	H31		津波・大規模風水害対策車
	北広報1	トヨタ	H16		ライトバン4WD
	北査察1	日産	R 7		軽バン4WD
	北警防1	ヤマハ	H17		バイク50cc
	小型動力ポンプ	トーハツ		B-3	可搬式
	小型動力ポンプ	シバウラ		B-2	可搬式
	救助艇	アキレス	R 4		9.9PS(トーハツ)
	救助艇	アキレス	H31		20.0PS(トーハツ)
	救助艇(高機能)	MST	R 2		30.0PS(トーハツ)
	小型特殊車両	Argo	H31		8輪バギー
	志賀分署	志賀タンク1	日野	H25	A-2
志賀救急1		トヨタ	R 6		高規格救急車4WD
志賀積載1		ダイハツ	R 6	B-2	小型ポンプ積載デッキバン4WD
志賀資材1		いすゞ	H15		トラック(2.0t積)
志賀広報1		日産	H17		ライトバン4WD
志賀警防1		ホンダ	H15		バイク50cc
小型動力ポンプ		トーハツ	H 9	B-2	可搬式
中消防署					
本署	中はしご1	日野	H28		35m級先端屈折水路管付
	中救助1	日野	R 7		救助工作車III型4WD
	中タンク1	日野	H23	A-2	CAFS付タンク車(2,000L)4WD
	中ポンプ1	日野	R 5	A-2	CAFS付ポンプ車(600L)4WD
	中指揮1	トヨタ	H24		指揮車4WD
	中救急1	日産	R 7		高規格救急車4WD
	中資材1	トヨタ	R 7		トラック(2.0t積)
	中広報1	トヨタ	H15		ライトバン
	中査察1	ダイハツ	H28		軽バン

所属名	名称	車名	登録	ポンプ級別	形状等
	中警防1 小型動力ポンプ 救助艇	ホンダ シバウラ アキレス	H 4 R 7 R 5	B-2	バイク50cc 可搬式 9.9PS(トーハツ)
西分署	西ポンプ1 西救急1 西救急2 西資材1 西連絡1 西警防1 小型動力ポンプ	トヨタ トヨタ トヨタ トヨタ ダイハツ ヤマハ トーハツ	H22 R 4 R 8 R 6 H27 H 2 R 5	A-2 B-2	高圧噴霧付ポンプ車(600L)4WD 高規格救急車4WD 高規格救急車4WD トラック(2.0t積) 軽バン4WD バイク50cc 可搬式
水上出張所	消防艇(おおつ) 搭載艇 水上連絡1 水上警防1	19GT型消防艇 アキレス 日産 ホンダ	H27 H23 H29 H 6	8000L	小型船舶、ウォータージェット推進器 15PS(ヤマハ) 軽バン バイク50cc
南消防署					
本署	南はしご1 南化学1 南救助1 南ポンプ1 南指揮1 南救急1 南救急2 南資材1 南広報1 南査察1 南警防1 小型動力ポンプ 救助艇	三菱 日野 日野 日野 トヨタ トヨタ トヨタ 日野 トヨタ ダイハツ ヤマハ トーハツ アキレス	H12 R 3 R 6 H25 H25 R 4 R 3 R 8 R 6 H25 H16 R 7 H27	A-2 A-2 A-2 B-2	24m級 化学車Ⅱ型CAFS付4WD 救助工作車Ⅱ型4WD CAFS付ポンプ車(600L)4WD 指揮車4WD 高規格救急車4WD 高規格救急車4WD トラック(2.0t積)リフター付き4WD ステーションワゴン(8名) 軽バン4WD バイク50cc 可搬式 9.9PS(トーハツ)
南郷出張所	南郷ポンプ1 南郷救急1 南郷広報1 南郷警防1 小型動力ポンプ	日野 トヨタ トヨタ ヤマハ トーハツ	R 5 R 2 H18 H 5	A-2 B-3	CAFS付ポンプ車(600L)4WD 高規格救急車4WD ライトバン バイク50cc 可搬式
東消防署					
本署	東はしご1 東タンク1 東ポンプ1 東救急1 東資材1 東広報1 東査察1 東連絡1 東警防1 小型動力ポンプ	日野 日野 日野 トヨタ 日野 三菱 日産 マツダ ヤマハ シバウラ	R 5 H24 R 4 R 5 R 6 H28 R 4 H 8 H 3 R 4	A-2 A-2 A-2 B-2	30m級先端屈折水路管付 CAFS付タンク車(2,000L)4WD CAFS付ポンプ車(600L)4WD 高規格救急車4WD トラック(2.0t積) ステーションワゴン(8名) 軽バン ライトバン バイク50cc 可搬式
青山救急出張所	東救急2	トヨタ	R 2		高規格救急車4WD

車両種別一覧

消防ポンプ自動車 6台	水槽付消防ポンプ自動車 4台	救助工作車 3台
		
【北ポンプ1】	【志賀タンク1】	【中救助1】
高規格救急自動車 10台	はしご付消防ポンプ自動車 4台	化学消防ポンプ自動車 1台
		
【西救急2】	【東はしご1】	【南化学1】
指揮車 4台	消防艇 1艘	広報車 7台
		
【北指揮1】	【消防艇おおつ(愛称:湖都風)】	【南広報1】
資機材搬送車 7台	支援車 2台	他の車両・バイク 28台
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 小型動力ポンプ積載車 1台 ・ 小型特殊車両 1台 ・ 査察車 5台 ・ 連絡車 4台 ・ 楽器搬送車 1台 ・ バイク 8台 ・ その他 8台
【北水害対策1】	【局支援1】	

令和7年 救急概況

救急出動の状況

■ 出動件数

令和7年中における救急出動件数は、20,531件で、前年の20,830件と比較して299件減少しました。また、1日あたりの平均出動件数は56.2件で、これは1時間に2.3件出動したことになります。

■ 搬送人員

傷病者搬送人員は、18,357人で、前年の18,688人と比較して331人減少しました。これは、市民の18.7人に1人が救急隊によって搬送されたことになります。

■ 活動時間

覚知(119番入電)から救急車が現場に到着するまでの平均所要時間は、9分47秒で、前年の9分40秒から7秒延長しました。

また、覚知から救急車が病院に到着するまでの平均所要時間は、34分35秒で、前年の34分04秒から31秒延長しました。

令和7年救急概況表[前年比較]

区分	出動件数(件)			搬送件数(件)			搬送人員(人)		
	令和7年	令和6年	増減	令和7年	令和6年	増減	令和7年	令和6年	増減
合計	20,531	20,830	△ 299	18,264	18,567	△ 303	18,357	18,688	△ 331
火災	61	54	7	13	10	3	14	9	5
自然災害	1	2	△ 1	1	2	△ 1	1	2	△ 1
水難事故	19	21	△ 2	6	2	4	6	2	4
交通事故	1,016	1,155	△ 139	853	968	△ 115	919	1,049	△ 130
労働災害	136	158	△ 22	133	154	△ 21	133	155	△ 22
運動競技	130	144	△ 14	123	142	△ 19	127	143	△ 16
一般負傷	3,401	3,386	15	3,135	3,070	65	3,140	3,083	57
加害	52	48	4	38	31	7	38	31	7
自損行為	156	125	31	101	91	10	101	91	10
急病	14,096	14,196	△ 100	12,675	12,855	△ 180	12,692	12,880	△ 188
その他	1,463	1,541	△ 78	1,186	1,242	△ 56	1,186	1,243	△ 57

過去5年間 出動件数及び現場到着と医療機関到着平均所要時間の推移

	出動件数		搬送件数		搬送人員		1日あたりの出動件数		覚知から現場到着までの平均所要時間		覚知から医療機関までの平均所要時間	
令和3年	16,531	件	14,841	件	14,922	人	45.3	件	9分13秒	34分26秒		
令和4年	19,348	件	17,346	件	17,435	人	53.0	件	9分43秒	36分02秒		
令和5年	20,795	件	18,587	件	18,682	人	57.0	件	9分47秒	34分43秒		
令和6年	20,830	件	18,567	件	18,688	人	56.9	件	9分40秒	34分04秒		
令和7年	20,531	件	18,264	件	18,357	人	56.2	件	9分47秒	34分35秒		

■事故種別[傷病程度別]搬送状況

事故種別	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計	割合
火災	- 人	3 人	6 人	5 人	- 人	14 人	0.08%
自然災害	- 人	- 人	- 人	1 人	- 人	1 人	0.01%
水難事故	- 人	2 人	1 人	3 人	- 人	6 人	0.03%
交通事故	4 人	15 人	96 人	804 人	- 人	919 人	5.01%
労働災害	1 人	2 人	26 人	104 人	- 人	133 人	0.72%
運動競技	- 人	- 人	15 人	112 人	- 人	127 人	0.69%
一般負傷	14 人	44 人	692 人	2,388 人	2 人	3,140 人	17.11%
加害	- 人	1 人	5 人	32 人	- 人	38 人	0.21%
自損行為	6 人	9 人	27 人	59 人	- 人	101 人	0.55%
急病	101 人	249 人	4,098 人	8,243 人	1 人	12,692 人	69.14%
その他	- 人	25 人	1,053 人	108 人	- 人	1,186 人	6.46%
合計	126 人	350 人	6,019 人	11,859 人	3 人	18,357 人	100.0%
割合	0.69%	1.91%	32.79%	64.60%	0.02%	100.0%	

死亡とは、救急隊が病院を引き揚げるまでに医師によって死亡と判断されたものをいう。
 事故種別「その他」とは、転院搬送等をいう。
 傷病程度「その他」とは、医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したものをいう。

■事故種別[年齢区分別]搬送状況

事故種別	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	割合
火災	- 人	- 人	- 人	7 人	7 人	14 人	0.08%
自然災害	- 人	- 人	1 人	- 人	- 人	1 人	0.01%
水難事故	- 人	- 人	1 人	5 人	- 人	6 人	0.03%
交通事故	- 人	22 人	97 人	561 人	239 人	919 人	5.01%
労働災害	- 人	- 人	1 人	102 人	30 人	133 人	0.72%
運動競技	- 人	- 人	78 人	48 人	1 人	127 人	0.69%
一般負傷	- 人	160 人	167 人	463 人	2,350 人	3,140 人	17.11%
加害	- 人	1 人	0 人	26 人	11 人	38 人	0.21%
自損行為	- 人	- 人	12 人	80 人	9 人	101 人	0.55%
急病	4 人	556 人	278 人	3,112 人	8,742 人	12,692 人	69.14%
その他	22 人	11 人	11 人	301 人	841 人	1,186 人	6.46%
合計	26 人	750 人	646 人	4,705 人	12,230 人	18,357 人	100.0%
割合	0.14%	4.09%	3.52%	25.63%	66.62%	100.0%	

- ・ 新生児 生後28日未満
- ・ 乳幼児 生後28日以上 満7歳未満
- ・ 少年 満7歳以上 満18歳未満
- ・ 成人 満18歳以上 満65歳未満
- ・ 高齢者 満65歳以上

■救命率の推移

	搬送人員	心停止傷病者数	救命人員	救命率	救命手当施行率
令和3年	14,922人	305(61)人	28(16)人	9.2(26.2)%	58.7(49.2)%
令和4年	17,435人	332(62)人	21(8)人	6.3(12.9)%	49.8(45.2)%
令和5年	18,682人	331(58)人	25(11)人	7.6(19.0)%	52.3(50.0)%
令和6年	18,688人	302(49)人	23(6)人	7.6(12.2)%	53.2(57.8)%
令和7年	18,357人	307(52)人	27(15)人	8.8(28.8)%	60.9(66.7)%

救命人員とは、1か月以上生存している人を指し、生存退院者や社会復帰者も含まれます。
救命手当施行率とは、心停止事故を目撃または発見した市民が、心肺蘇生法等の救命手当を実施していた率です。
()内は、心停止の原因が心原性で、かつ目撃があった傷病者を対象とした場合の値です。
※令和7年版消防年報に記載の令和6年の「救命率の推移」について、一部誤りがみられたため、本年の消防年報に訂正して記載をしています。

■高度救命処置実施状況

救急救命士が実施した救急救命処置は、次のとおりです。

	心肺停止傷病者数 ※呼吸停止のみを含む	気道確保 (LT等)	気管挿管	除細動	静脈路 確保	アドレナリン 投与	CPA前 輸液	ブドウ糖 投与
令和3年	317人	207件	39件	33件	164件	136件	77件	33件
令和4年	348人	226件	38件	26件	191件	178件	94件	44件
令和5年	347人	189件	62件	35件	190件	186件	91件	46件
令和6年	317人	153件	64件	26件	188件	171件	94件	36件
令和7年	323人	150件	60件	32件	173件	166件	109件	35件

平成26年4月1日から救急救命士法施行規則の一部が改正され、心肺停止前の傷病者に対し、静脈路確保及び輸液、さらに血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液投与が可能となり、10月1日から運用開始しました。
CPA前輸液の件数には、ブドウ糖溶液投与にかかる静脈路確保実施件数を含みます。

■救急隊員の資格

[令和8年3月31日現在]

資格種別	救急救命士	救急科	救急Ⅱ課程	救急Ⅰ課程	合計
人数	94 人	184 人	23 人	3 人	304 人

※上記は再任用職員を除いた人数

[令和8年3月31日現在]

認定等種別	気管挿管認定 薬剤投与認定	薬剤投与認定	救急救命士	合計	左記のうち 指導救急救命士
救急救命士数	32 人	46 人	16 人	94 人	9 人
救急隊配置	27 人	33 人	1 人	61 人	7 人

■ 応急手当の普及

令和7年1月から令和7年12月までの実績は、次の表のとおりです。

講習種別	実施回数	修了者数
救命入門コース(90分コース) ()は、平成24年からの累計	116 回 (1,409 回)	3,793 人 (37,764 人)
救命入門コース(45分コース) ()は、平成24年からの累計	8 回 (152 回)	148 人 (7,308 人)
普通救命講習Ⅰ(主に成人に対する応急手当) ()は、平成18年からの累計	31 回 (2,680 回)	289 人 (69,039 人)
普通救命講習Ⅱ(普通救命講習Ⅰの内容に加え筆記・実技試験) ()は、平成18年からの累計	- 回 (450 回)	- 人 (7,620 人)
普通救命講習Ⅲ(主に新生児から小児に対する応急手当) ()は、平成24年からの累計	2 回 (219 回)	32 人 (3,477 人)
一般救急講習 ()は、平成6年からの累計	3 回 (1,449 回)	56 人 (55,255 人)
上級救命講習 ()は、平成6年からの累計	- 回 (65 回)	- 人 (849 人)
応急手当普及員講習 ()は、平成6年からの累計	- 回 (34 回)	- 人 (160 人)
普通救命講習(平成6年～平成19年で終了)	(2,041 回)	(49,171 人)

※平成12～28年度は、市立中学校における保健体育授業に参画し普通救命講習を実施。

(平成28年度までの中学生受講者数は48,308人)

平成29年度以降は中学生に対する救命入門コース(90分コース)に移行。

※平成18年から普通救命講習は、普通救命講習Ⅰに移行。

※平成24年5月から、救命入門コース(90分コース)を開始した。

※平成26年度から市立小学校における保健体育の授業に参画し、一般救急講習を実施。

平成28年7月11日からは、これを救命入門コース(45分コース)と位置づけています。

※実施回数・修了者数は、応急手当普及員による開催を含みます。

※普通救命講習Ⅰには、ステップアップ講習(救命入門コースまたはe-ラーニング講習修了者を対象とし、心肺蘇生法等の実技を主体とした講習)を含みます。



【早い認識と119番通報】



【呼吸をみる】



【絶え間ない胸骨圧迫】



【早い電気ショック】

■ [署所別] AED貸出し状況(令和7年中)

署所	北消防署 (志賀分署含む)	中消防署 (西分署含む)	南消防署 (南郷出張所含む)	東消防署	合計
件数	6	8	10	5	29